

こんにちは。東日本営業部 野中です。夏商戦を控えた6月、夏休みの早期予約獲得やグループ旅行の受入体制など、日々の入念な準備にお忙しい頃かと思います。

1年の約半分を過ぎる頃でもあり、今月と次月の2カ月にわたって、振り返り兼ねた旅行業界の「今」と「これから」について分析をするとともに、「テーマ型旅行」と呼ばれる新しい取組みについて、ご紹介したいと思います。

株式会社 KBS 創研 執行役員 東日本営業部長兼広報室長 野中瑠美子

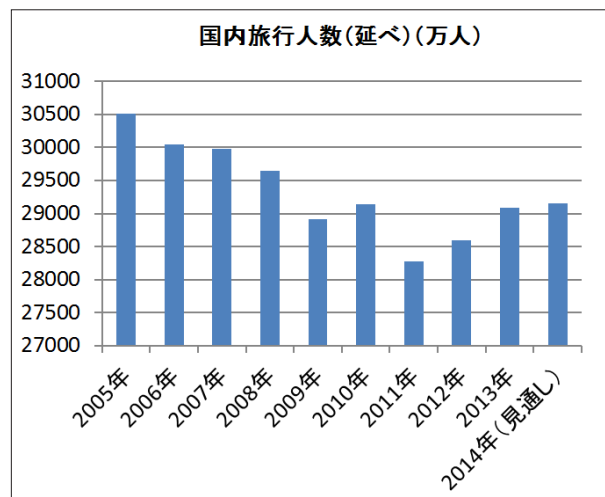


## 旅行業界の「今」と「これから」(前編)

### ●国内旅行市場の動向

2013年の国内旅行人数は2億9,090万人(前年比+1.7%)、平均消費額は33,940円(前年比+3.5%)と推計され、株価上昇や規制緩和が進むなどの景況の改善を背景に、GW・夏休み・年末年始といったピークシーズンはすべて過去最高の旅行者数であったといわれています。また、週末3連休の回数の増加(2012年から+3回)による、ピークシーズン以外の旅行者数の増加や、LCCの路線が増え旅行方面の選択肢が増加したことによる利用者数の伸び、遷宮が行われた伊勢神宮・出雲大社への旅行者や、東京ディズニーリゾート30周年イベント、東京スカイツリーの人気継続など東京方面の旅行者が増加したことも要因のひとつと考えられています。

(出典: JTB「2014年旅行動向見通し」より)



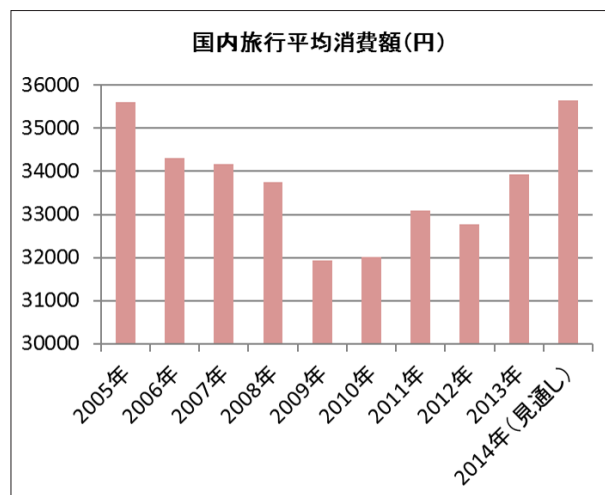
※1泊以上の日本人の旅行(ビジネス・帰省を含む)

### ●2014年の見通し

#### ～レジャー・旅行への意欲は持続傾向～

2014年の見通しとしては、国内旅行人数は2億9,150万人(前年比+0.2%)、平均消費額は35,640円(前年比+5.0%)と推計され、レジャー・旅行への意欲は持続傾向にあるといわれています。消費税増税後の消費停滞が懸念されていたものの、東日本大震災後の「出来る時にやりたいことをしておきたい」という意識は継続し、節約する部分とお金をしっかりとかける部分を分ける「メリハリ消費」が進むと考えられています。

LCCの浸透や素泊まりなど旅の選択肢が広がり、LCCを利用して豪華に宿泊する、素泊まりで宿泊し食事やお土産など現地消費にお金をかけるなど、個人の趣向に合わせた旅行の楽しみ方をする人が今後も増えそうです。(出典: JTB「2014年旅行動向見通し」より)



※自宅を出発してから帰宅するまでの総費用(現地消費分を含む)

## ● 2014 年の見通し～消費や旅行意欲も底堅いシニア層～

また、2014 年の日本の総人口は約 1 億 2,695 万人（前年比約 30 万人減）といわれていますが、65 歳以上は約 3,313 万人（前年比 119 万人増）と予測され、人数が多く消費や旅行意欲も底堅いシニア層が総旅行人数の増加や平均旅行回数の増加に寄与すると考えられます。

今年の 8 月（お盆）のカレンダーをみると、8/16（土）・8/17（日）へと連休が伸びる日並びであることから、ゆったりと過ごせる連泊プランや、近隣観光地と合わせた周遊型プランなどの販売も意識して取り組んでみてはいかがでしょうか。

## ● 「テーマ性」にこだわった旅の提案

京都へ旅行にでかけたことのある方はたくさんいらっしゃると思いますが、既存のパンフレットやインターネットではなかなか知り得ない、そんな体験ができる旅があったら・・・

7 月号では、次の様な「テーマ型旅行」と呼ばれる新しい取り組みについて詳しくご紹介していきます。  
あわせてご覧ください。

| 「特別な京都」の旅のご提案                                                                                                                |                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>「御寺泉桶寺塔頭雲龍院」特別参拝（ライトアップ）</p>           |  <p>「閑臥庵」<br/>禅寺で頂く京懐石普茶料理</p>                |
|  <p>「旅亭 左阿彌」<br/>一見さんお断りの本物のお茶屋さんでの体験</p> |  <p>「祇園・割烹なか川」<br/>このお店が世に送り出した「鱧しゃぶ」に舌鼓</p> |
|  <p>「錦織・龍村光峯工房」<br/>特別案内</p>              |  <p>「京料理・木乃婦」<br/>従来の概念にしがらみがない独自の京料理</p>    |

### 編集 後記

昨年、GW・夏休み・年末年始といったピークシーズンはすべて過去最高の旅行者数で、本年も引き続きレジャー・旅行への意欲は持続傾向という調査結果。さらに、節約する部分とお金をしっかりとかける部分を分ける「メリハリ消費」が一層進むという。旅行業界の「これから」とは。次回の「テーマ型旅行」にもご注目ください！（増田）

### 株式会社 K B S 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571  
東日本営業部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3階 TEL:03-6453-9088/ FAX:03-6453-9089  
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855  
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）  
〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町222番地京都イノベーションオフィス内 TEL070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京